

# Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.10.09

No.035



2024年10月9日提出

八地申  
第5号

## お客さまが安全に乗降でき、 車掌が安心して確実に乗降扱いができる 設備・環境を求める申し入れ

JTSU-E 八地申第20号交渉（2024年6月27日開催）において、12両化に際してITVで確認できる部分はどこかについて改めて労使で議論をしてきましたが、認識の一致を図ることができていません。

会社は現行のITVでも安全は確保できるとしていますが、その一方で乗降扱いの際にお客さまの荷物や身体等を挟むなどの事象があれば、事象を起こした社員を乗務から下ろし、責任を当該事象の車掌に押し付けている事態が散見されています。

過日、吉祥寺駅で発生した事象を踏まえて施された対策は、同駅での基本動作を変えるという内容であるにもかかわらず、事象は相変わらず発生しており、対策の体をなしていません。

渡利副社長が「安全の基準を守るために必要なお金は用意する」と社内SNSで発信していることが真ならば、安全の基準を守り、社員が心配せずに業務できる環境をつくるべきであり、八王子地本は以下の3項目を申し入れています。



八地申  
第20号  
情報はこちら

### 申し入れ項目

1. 吉祥寺駅でのドア挟まりの事象に対して、「基本動作に加えて一斉放送をする」といった、吉祥寺駅のみ基本動作を変更する対策が講じられているが、このことにおける会社の評価を明らかにすること。
2. ITVの役割について明らかにすること
3. お客さまが安全に乗降でき、車掌が自信を持って乗降扱いができる環境を各駅で整備すること。

説明不十分なまま敢行される設備変更や  
責任追及偏重傾向の職場風土に  
疲弊する現場は今なお危険と向き合っている！  
真摯な議論で安全安心な設備・環境をつくろう！